

一般社団法人 和歌山青年会議所
2021年度 理事長所信

理事長 川瀬 康喜

“革新”

～仲間とともに輝く未来を創出しよう！～

はじめに

青年会議所に入会した当初は事業に参加することが少なく、地域社会や経済の活性化についてほとんど関心がありませんでした。しかし様々な事業に参加する中で、積極的に運動する先輩諸氏や仲間の姿に影響を受け、自分自身も地域のために能動的に動く意識が生まれました。与えられた職務に対し成功や失敗を繰り返すことで自己の成長につなげ、日々変化する激動の時代において、高い志と強い信念を持ち運動に邁進する我々がさらに成長しなければ輝く地域の未来はありません。最初から無理や不可能な試練はなく、青年経済人らしく失敗を恐れず立ち向かうことが重要であります。

2020年、新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、私たちの生活様式や働き方は大きく変化しました。それに伴い世の中ではマスクの着用やソーシャルディスタンスを保つことが生活の常識となり、社会においても様々な業種が営業自粛を求められ、働きたくても働けない状況となり、当たり前であった生活や社業が当たり前ではなくなりました。そして青年会議所運動も同様に多大な影響を受けており、我々自身の身に起こっている事態から命の大切さを尊重しながらも、地域の発展に寄与するという困難な道を模索しなければなりません。

1949年、戦後の混沌とした時代背景の中、志ある青年たちが集い「新日本の再建は我々青年の仕事である」と宣言し、日本ではじめての青年会議所を設立させました。今まさに私たちはこの創始の精神を再認識し、改めて青年会議所の本来の姿を明確にし、行動していくことが必要だと考えます。

これまで通りの運動を発信できることが我々の望むところではありますが、各地域の青年会議所の様々な運動が中止を余儀なくされ運動発信が困難な状況であります。しかし、我々は地域の発展のために運動を止めるわけにはいきません。「ニューノーマル」を基本とし、社会情勢を見極めながら確実に実行できるよう従来の仕組みを「革新」し、運動を発信し続けなければなりません。そのためには入会歴や役職に捉われず「明るい豊かな社会」の実現に向け、さらなる高みを目指すリーダーの育成が必要不可欠です。

新たなコミュニケーションが円滑な組織運営を可能とする

未曾有の事態を受け、社会におけるコミュニケーションは急速にオンライン化が進み、人々の働き方も変化し、我々の生活環境は大きな変化をもたらしました。我々青年会議所において、運動構築のための議論は必要不可欠であり、現状のままではコミュニケーション不足が原因で、全ての運動に影響が及びます。これからはリモートによるコミュニケーションを積極的に取り入れながら、オンライン・オフラインそれぞれのメリット・デメリットを相互補充することで、効果的なコミュニケーションで会議を運営しなければなりません。我々のコミュニケーションが活性化すれば、事業構築の生産性が向上し、組織運営を円滑に進めることが可能となります。

新たなまちづくりが地域を発展させる

和歌山市は2019年7月、内閣府が推進するSDGs未来都市に認定されました。我々、青年会議所運動においても経済・社会・環境の三側面において新しい価値の創出を目指し、どんなに困難な状況でも青年経済人として真摯にまちづくりと向き合い続け、目まぐるしく起こる社会環境の変化に対応できる持続可能な仕組みを構築しなければなりません。

このまちには魅力ある地域資源が数多く存在し、これまでもその地域資源を存分に発信したまちづくりを行ってまいりました。コロナ禍で社会環境や人々の価値観が一変した今、あらゆる分野で活躍する同志とパートナーシップを図り「ニューノーマル」を基本とした新たなまちづくりの形を提案し実現することで、地域に希望の光を灯します。そして、地域の人々のまちの活性化に対する当事者意識を高め、地域に根差した価値を創出することで活力ある和歌山市を持続的に発展させてまいります。

新たな交流が友情を育み相互理解を深める

直接的な交流の機会が減少している今、組織の団結力が低下し、我々が目指す力強い運動発信の妨げとならないよう、交流する事業に関して組織や委員会の形に捉われず、それぞれが役割を担うことで、交流に対する意識の向上を図り、お互いを思い合う心を育みます。

また、和歌山青年会議所は48年前から姉妹JCとの交流を始め、長年にわたって民間外交による友情を育てまいりました。国際化が加速する現代において、国境を越えた友情を育むためにも、今まで以上にお互いの歴史や文化、言語を理解し、コミュニケーション能力の向上を図ることが重要です。加えて世界における新型コロナウイルスによる状況を踏まえ、オンラインツールを駆使した新たな交流で友情を育み相互理解を深めます。

新たなリーダーの育成が未来を創る

近年、全国的に会員数の減少を上回る入会者を確保できていない青年会議所が数多く存在し、和歌山青年会議所においても同様の問題を抱えております。会員の拡大は青年会議所

運動の根幹であり、「明るい豊かな社会」という私たちの理念を実現するためには、会員全員で拡大に参画する仕組みを確立するとともに、会員資格規程等の研究と精査を行った上で、入会者を幅広く迎え入れる体制を整える必要があります。和歌山青年会議所の運動に賛同する同志とともに地元和歌山を持続的に活性化させることで、地域の人々との良好な関係を生み出します。

地域の未来を担っていくのは常に青年世代であり、次世代社会を担うリーダーの成長は欠かせません。また、会員の多くは自社の経営に携わるなど企業における管理職者であり、当然リーダーとしての資質が問われます。この厳しい時代背景の中で全ての人材を成長させるためには、経験豊富な会員が率先して模範となるような姿勢を見せ続けることが重要であり、これまで以上に青年会議所運動に積極的に参画できる環境整備が必要です。そして青年会議所に所属している全ての会員が、「主役」というリーダーとしての自覚をもつことで当事者意識が芽生え、何事にも主体的に取り組む姿勢を育み、新たな未来を創り出します。

新たな運動発信がJCブランドを確立し市民からの共感を得る

青年会議所とは何か。どのような団体で何を目的としているのか。それを理解している市民はどれだけいるのでしょうか。どんなに良い事業を展開しても、市民の共感を得なければ意味を成しません。運動を効果的に展開していくには、ブランド力をさらに向上させることが必要です。

SNSの爆発的な普及により膨大な情報を取捨選択しながら生活している一方で、我々が情報を発信する立場になった時、ただ漠然と発信しているだけでは伝わりません。表面的な情報だけでなく、そこに至る背景や目的といった想いを伝えることで市民の心に強く伝わると考えます。

発信方法が進化していく中、楽しさを伝えるためにトレンドを取り入れた媒体を駆使し、形に捉われず新たな発信内容を企画することが、青年会議所のファンを創出し、我々が目指す市民の意識を醸成することに直結するのです。

「明るい豊かな社会」を実現するためには、我々自身が学びに対する意識を高めなければなりません。そして会員だけではなく市民とともに新たな学びを得る機会を創出することで、同じ目標に向かっているという理解につながります。

新たな組織が変化に強い団体へとつながる

多種多様な運動の展開は自己成長の機会をもたらし、まちに対しても存在感や影響力のある団体として運動を伝播することができます。しかし、全国各地の多くの青年会議所と同様に、和歌山青年会議所においても会員減少に伴い事業規模の縮小が余儀なくされ、組織として変わらなければならない状況に直面しております。永続的に運動を展開し続けるために、これまで以上に時代に即した抜本的な「革新」を行い、組織の運営体制を整えなければなりません。

我々の在り方を示す場である総会では、会員が組織運営の重要性を深く認識し、議決権を有効的に行使できる機会として厳粛に設営しなければなりません。また、各会議が運動の効果を高めるために行われているか、これまでの諸規程が各会員の個性を発揮するのに適正なのかを常に検証し、「革新」する必要があります。

一般社団法人格を有する団体として、社会的信頼が得られる財務管理とともに、運動の価値と効果を高められる盤石な組織運営を行うことが求められます。地域を牽引する団体であり続けるためには、様々なコンプライアンスを遵守し、財源が公正に運用され効果的な成果が得られているかを厳正に審査することで、組織の根幹を支え市民の共感を得る運動へとつながります。

自らを成長させる場として出向という機会があります。全国各地や和歌山県内の青年会議所会員との出会いや和歌山青年会議所では体験できない事業に携わることで、普段とは違った角度から自分自身の現状を知る貴重な経験となります。そして出向者に対して理解を深め積極的に支援することで、和歌山青年会議所の運動にさらなる好循環をもたらすと考えます。

また、2022年度は創立65周年という節目を迎えます。創立以来、地域そして市民とともに躍動できたのも、先輩諸氏から受け継がれてきた運動の歴史によるものです。脈々と受け継がれてきた伝統を守るとともに、時代に即した革新的な組織を構築し、変化に強い団体へと成長することで、高い志と熱き想いを次代につなぎます。

結びに

青年会議所には、かけがえのない仲間との出会いと、自身が求めれば求めるほど自己成長の機会が数多く存在します。「明るい豊かな社会」の実現に向けて、柔軟に変化し時代に即した「革新」を行うことで、新時代を切り開くリーダーを輩出し続け、まちに必要とされる団体となります。

市民の共感を得た我々が、どんなに困難な状況においても苦楽を共にし、熱き友情を築きあげ、何事にも恐れず果敢に挑戦し続ける姿にこのまちの未来があると確信します。

青年世代としての自覚と責任をもって、まちを想い新時代とともに「革新」する我々が、

～仲間とともに輝く未来を創出しよう！～

一般社団法人 和歌山青年会議所

2021年度 基本計画

基本理念

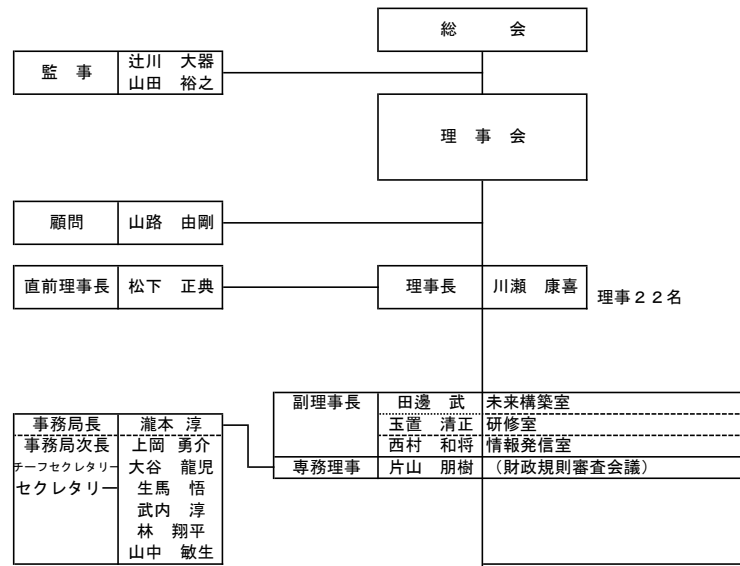
“革新”

基本方針

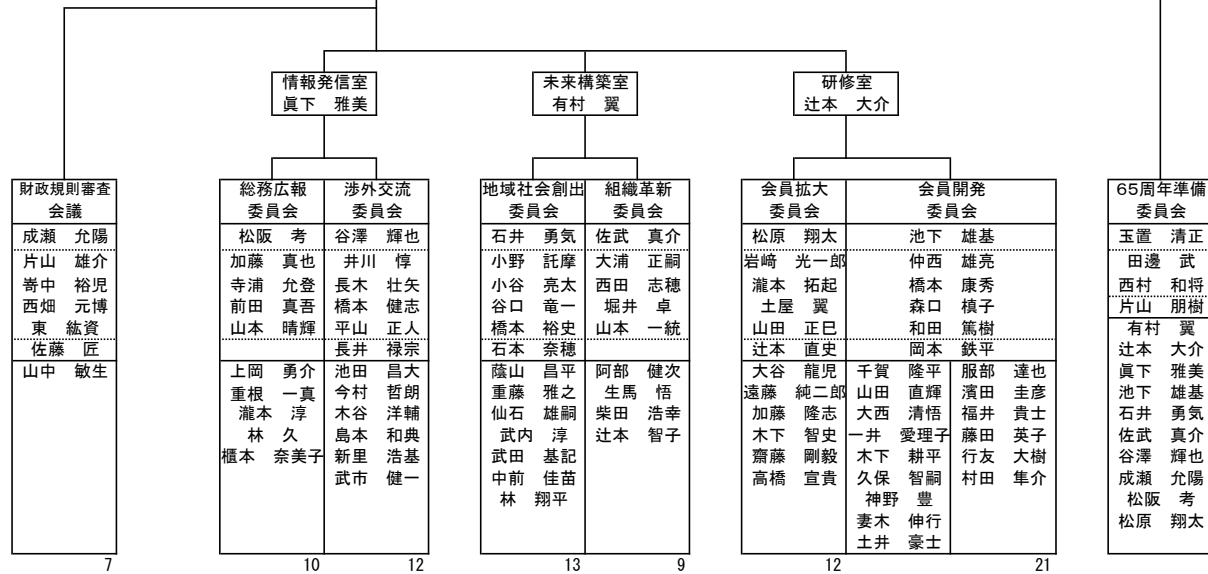
新たなコミュニケーションが円滑な組織運営を可能とする
新たなまちづくりが地域を発展させる
新たな交流が友情を育み相互理解を深める
新たなリーダーの育成が未来を創る
新たな運動発信がJCブランドを確立し市民からの共感を得る
新たな組織が変化に強い団体へとつながる

スローガン

～仲間とともに輝く未来を創出しよう！～



| | | |
|---|---|--|
| 公益社団法人日本青年会議所 国家グループ クオリティ国家戦略会議 委員 大西 清悟 委員 一井 愛理子 委員 山路 由剛 国際グループ JCI関係委員会 副委員長 辻川 大器 委員 井川 惇 委員 石井 勇氣 委員 松下 正典 委員 森口 槇子 委員 山本 一統 総務グループ 組織価値浸透委員会 委員 佐武 真介 委員 眞下 雅美 | 近畿地区協議会 顧問 山路 由剛 破天荒な人材育成委員会 委員 山本 晴輝 世界に羽ばたく人財育成委員会 委員 小野 託摩 委員 瀧本 拓起 委員 田邊 武 財政・規則特別委員会 副委員長 玉置 清正 委員 西村 和将 委員 堀井 卓 委員 山田 正巳 | 和歌山ブロック協議会 顧問 松下 正典 事務局 スタッフ 土井 豪士 次長 西畑 元博 財政局 スタッフ 山本 晴輝 総務広報委員会 委員長 今村 哲朗 副委員長 長木 壮矢 委員 石本 奈穂 委員 小谷 亮太 委員 東 紘資 地域再興委員会 委員 寄中 裕児 委員 瀧本 拓起 経済再生復興委員会 幹事 山田 正巳 委員 土屋 翼 未来構築委員会 委員 大浦 正嗣 委員 和田 篤樹 |
|---|---|--|



7

10

12

13

9

12

21